

教育プログラム・コース一覧

プログラム・コース名	専攻	入試	取得資格	学生数(各年の受入概数)	概要	実施年度
サステイナビリティ学教育プログラム Graduate Program in Sustainability Science	修士課程 (自然環境学、環境システム学、人間環境学、社会文化環境学、国際協力学の5専攻) 博士課程 (自然環境学、環境システム学、人間環境学、社会文化環境学の4専攻)	独自入試	修士(サステイナビリティ学) 博士(サステイナビリティ学)	20名	「平成17年度科学技術振興調整費—戦略的研究拠点形成」の資金による「サステイナビリティ学連携研究機構」の協力により、環境学系5専攻共同で設立した修士課程。平成19年度より学生を受け入れており、サステイナブルな社会の構築に国際的に寄与できる人材育成を目的として英語による教育をおこなっている。平成21年度より博士課程の受入も開始した。	平成19年～
バイオ知財コース Bio-IP Course	メディカルゲノム専攻	一部 独自入試	修士(科学) 博士(科学)	2～3名	バイオ分野の研究開発の在り方、研究成果の特許化などの専門性を有する人材を育成することを目的とし、この分野の発展のために貢献する。	平成18年～
核融合研究教育プログラム Nuclear Fusion Research Education Program	先端エネルギー工学専攻 複雑理工学専攻	入試時希望選抜	修了証書	9名(希望者は全員受入れる)	国際熱核融合炉ITER計画をはじめとする核融合分野で世界をリードする人材を育成するため、高度で専門的な知識と実践的な研究能力を身につける教育を行う。	平成20年～
基盤科学領域創成研究教育プログラム Educational Program for Creativity in Transdisciplinary Sciences	物質系専攻 先端エネルギー工学専攻 複雑理工学専攻		修了証書	基盤科学研究系在籍学生全員が対象。所定の単位を取得した者に修了証書が発行される。	物質科学、エネルギー科学、生命科学各分野での計測、解析、シミュレーション・描画等の情報技術手法を先鋭化するとともに、それらを融合した新しい方法論を構築し、従来の研究手法では到達できない「革新的な科学技術認識」を実現することを目的とし、その目的に適応できる視野の広い人材の育成・教育を行うものである。そうした研究、人材育成・教育を通して、学融合の理念に基づく新しい学術分野の創成を目指す。	平成21年～
ヘルスサイエンス教育研究プログラム Health Science Education Program	人間環境学専攻		修士(科学) 博士(科学)	15名	従来の医工連携教育研究プログラムを、生涯スポーツ健康科学研究センターの寄附講座設置にあわせて平成18年度に設置。医工の連携研究を促進し、修了者には「科学」の学位が与えられる。	平成18年～
環境MOT(環境マネジメント)プログラム Environmental Management Program	環境学研究系全専攻共通		修了証書	環境学研究系在籍学生全員が対象。所定の単位を取得し	環境学研究系の所属専攻にとらわれることなく、環境技術を総合的に学習・構想・開発し、技術移転、起業することに関心を持つ者に対して、実践的で戦略的なイノベーションのマネジメントに関する教育	平成16年～

				た者に修了証書が発行される。	プログラムを提供する。 修了証を交付し、また環境プランナーの申請資格が付与される。	
環境デザイン統合教育プログラム Integrated Environment Design Program	環境学研究系全専攻共通		修了証書	各スタジオ概ね20名	21世紀型の環境デザイナーには、人工環境および自然環境を建設する技術に加えて、それを育て、維持し、管理するための高度な技術と哲学を身に付けることが求められる。 そのためには、従来の狭い専門領域に閉じこもってはいは適切な解答をえることはできない。本プログラムは、各専攻で学習する環境学を基礎に、所属専攻を超えて展開される6つのデザインスタジオを系統的に履修することで、高度かつ幅広い技術と知識の習得ができる。	平成19年～
大学院教育改革支援プログラム「メディカルゲノムサイエンス・プログラム」 Medical Genome Science Program	メディカルゲノム専攻		修了証書	メディカルゲノム専攻在籍学生全員が対象。所定の単位を取得した者に修了証書が発行される。	「平成19年度大学院教育改革支援プログラム」の資金を得て5年制の教育プログラムとして、医療現場での実体験を基盤とした、ゲノムに基づく最先端の生命科学から医療の変革を志向する生命科学医科学研究者・技術者を養成する教育を行う。履修者は修了証をあたえられ、TR研究や医療と工学・情報学の融合研究の担い手として、人間の理解と健康と福祉に貢献する事が期待される。	平成19年～
環境技術者養成プログラム Environment Engineer Training Program	環境システム学専攻		修了証書	若干名	環境問題を技術で解決するエンジニアリングセンスを養成し、21世紀のあるべき環境をシステムとしてとらえ、統合化技術と要素技術の両者の視点を考慮した問題解決方法を提案できる人材の育成をめざす。	平成18年～
環境管理者養成プログラム Environment Manager Training Program	環境システム学専攻		修了証書	若干名	行政官や企業の管理職の立場で環境実施政策や環境リスク管理のセンスを養成し、環境問題に広い視野で適応できる人材の育成を行う。	平成18年～
魅力ある大学院教育プログラム「バイオ分野の知財戦略の設計検証と人材養成」	メディカルゲノム専攻				バイオ分野の研究成果の特許化などの人材を育成することを目的とし、この分野の発展のために貢献する。	平成17～18年
魅力ある大学院教育プログラム「超横断的バイオ人材育成プログラム」	先端生命科学専攻				生命科学研究系の講義を収録し、アーカイブを作成、配信する。学生は好きな時間にこの講義を見ることで講義内容を習得していく。	平成17～18年

注) 網掛けは修了したものを示します。